

新型コロナウイルス感染症による影響調査（集計結果）

新型コロナウイルス感染症による影響調査へのご協力、誠にありがとうございます。
今月も調査の時期となりました。連休中の大変お忙しい中ではございますが
ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

本影響調査の集計データについては数字のみ活用し、施設名は外部に公表いたしません。
また、ホテル組合ホームページに毎月の調査集計結果を掲載しておりますのでご覧ください。

令和7年4月 沖縄県ホテル旅館生活衛生同業組合

調査対象： 293 うち回答： 17（回答率） 5.8%

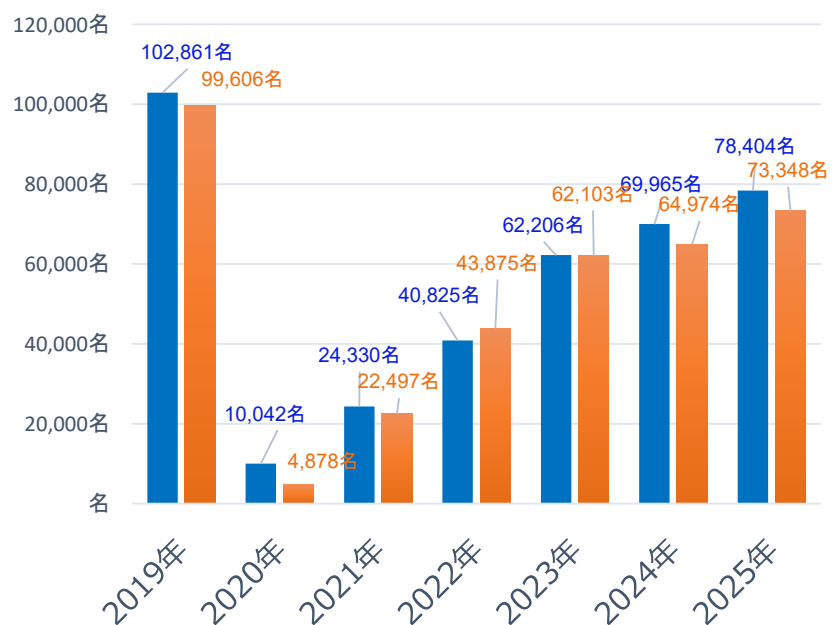
1. 4 月 ～ 5 月 の状況について（過去5年との状況比較）

① 宿泊人数について

2019年～2025年 宿泊人数

■ 4月 ■ 5月

	4月	5月
2019年	102,861 名	99,606 名
2020年	10,042 名	4,878 名
2021年	24,330 名	22,497 名
2022年	40,825 名	43,875 名
2023年	62,206 名	62,103 名
2024年	69,965 名	64,974 名
2025年	78,404 名	73,348 名



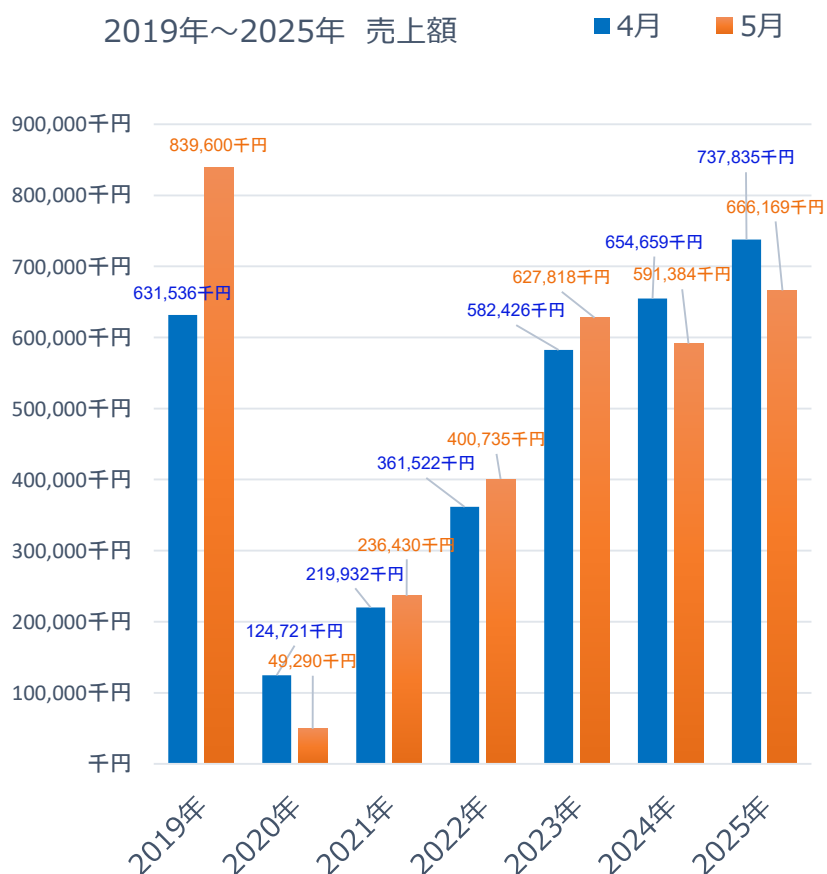
	4月	5月
2019年 対比	▲23.8%	▲26.4%
2020年 対比	680.8%	1403.6%
2021年 対比	222.3%	226.0%
2022年 対比	92.0%	67.2%
2023年 対比	26.0%	18.1%
2024年 対比	12.1%	12.9%

② 売上額について

	4月	5月
2019年	631,536 千円	839,600 千円
2020年	124,721 千円	49,290 千円
2021年	219,932 千円	236,430 千円
2022年	361,522 千円	400,735 千円
2023年	582,426 千円	627,818 千円
2024年	654,659 千円	591,384 千円
2025年	737,835 千円	666,169 千円

	4月	5月
2019年 対比	16.8%	▲20.7%
2020年 対比	491.6%	1251.5%
2021年 対比	235.5%	181.8%
2022年 対比	104.1%	66.2%
2023年 対比	26.7%	6.1%
2024年 対比	12.7%	12.6%

2019年～2025年 売上額

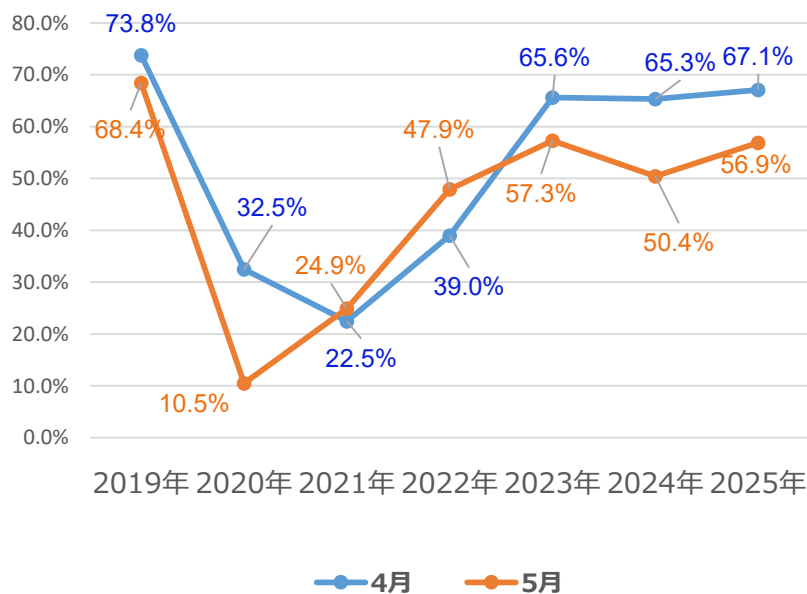


③ 平均稼働率について

	4月	5月
2019年	73.8%	68.4%
2020年	32.5%	10.5%
2021年	22.5%	24.9%
2022年	39.0%	47.9%
2023年	65.6%	57.3%
2024年	65.3%	50.4%
2025年	67.1%	56.9%

	4月	5月
2019年 対比	▲6.7%	▲11.6%
2020年 対比	34.6%	46.4%
2021年 対比	44.6%	31.9%
2022年 対比	28.1%	8.9%
2023年 対比	1.5%	▲0.4%
2024年 対比	1.8%	6.4%

2019年～2025年 稼働率



2. 組合員施設の現況を教えてください

【北部】

- 2025年4月は、国内客29.1%、海外客70.8% 概ねコロナ後はこのパーセンテージで推移。
- ・ 海外客は、海外客全体の73%が東アジアから。次東南アジア、ヨーロッパ、北アメリカの順。沖縄県内客は、国内客の内の38%
 - ・ 例年より7、8月のオンハンドは稼働高め

3. 組合へご意見ご要望がございましたら、自由にご記入ください。

【北部】

- ・ カスタマーハラスメントのオンライン講習を開催してほしいです。

4. 厚労省は昨年末、「食べ残し持ち帰り促進ガイドライン」を策定し、2030年までに食品ロスを半減させる国際目標に向けて取組実施を推進しております。社内における食品ロスの取り組みを教えてください。

【那覇市・南部】

- ・ レストランランチバイキング フードロス対策として、テナントオフィススタッフ向けにテイクアウト弁当で対応（平日のみ）

【北部】

- ・ 従業員食堂にて提供している。
- ・ ブッフェスタイルではなく、和定食懐石の為の無駄なフードロスは少ない。アレルギー苦手食材を事前に聞き取りしている。
- ・ 過剰な発注の抑制、お客様の人員に合わせた料理準備、日々のロスの計算
- ・ 『食べ残しゼロにご協力ください』の表示をしている。

